

背中を押されたように
来た西会津。
物を作る、物を伝える、
両方の役割に。

いちご あきこ
市古 晶子さん(20代)

<西会津町>

一般社団法人職員(事務)
(就業)

2022年 Iターン

靴職人が西会津町へIターン

『新潟県との県境に位置する西会津町。毎年6月には「3年通えば、なじよなねがいも叶えてくださる」と言われる大山祇神社の祭りが1か月間開催され、県内外から多くの人を訪れます。人口6,000人ほどと小さな町ですが、大きな総合スポーツ公園があり、キャンプや温泉施設、室内プールなどが楽しめます。また、西会津味噌ラーメンも有名で、行列ができる時期もあるほどです。

市古さんは東京都生まれ。モノづくりが好きなお女性です。市古さんが西会津町に移住することになったきっかけや西会津町に住んでみての感想などを、勤務先である西会津国際芸術村にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年9月28日

「モノづくりが好き」を続けるきっかけと暮らし

<移住のきっかけ>

前職で仲の良かった先輩が2020年に会社を辞めて西会津町で靴作り工房の立ち上げにチャレンジすることになりました。その頃の私は西会津町を知らなくて、どこだろう?と置いていたくらいです。

翌年4月に私も会社を辞めて、気分転換に先輩のところに遊びに来ました。その時に西会津国際芸術村の方々とも仲良くなって、都内でイベント販売をする時に手伝ってほしいと声をかけられるようになりました。

半年ほど自分を模索しながら過ごしていたのですが、芸術村にいた方に「私が出るようになったから、代わりに来たら?」と声をかけられました。「住んでいる家も車もそのまま渡すよ」と言われ、あまり迷うことなく移住を決めました。話が出てからトントンと話が進んだので、まるで準備されていたような感じでした(笑)

<西会津町での生活>

家は西会津町で一番大きな町「野沢」にある集合住宅に住んでいます。近くにスーパーもコンビニもあるので便利な立地です。知り合いから春には採れたてのコゴミをいただいたり、夏には野菜のお裾分けをもらったりすることもあり、食べ物に困ることはありません。

ただ、運転は未だに慎重になります。移住を決めた時に免許をもっていなかったため、12月に慌てて教習所に通い取りました。1月に西会津町に移住したのですが、



早々に雪道で怖い思いをしてしまい、春先まで運転が出来ませんでした。その間、芸術村での仕事の時には職場の方が心配して、家と職場を送り迎えしてくれたり、本当にたくさんの方にお世話になりました。運転を慣らしてから冬を迎えた方がよかったのだろうな、と反省しています。1年が経って運転もだいぶ慣れましたので、今年の冬は少し運転できるようにしたいと思っています。

<西会津町での仕事>

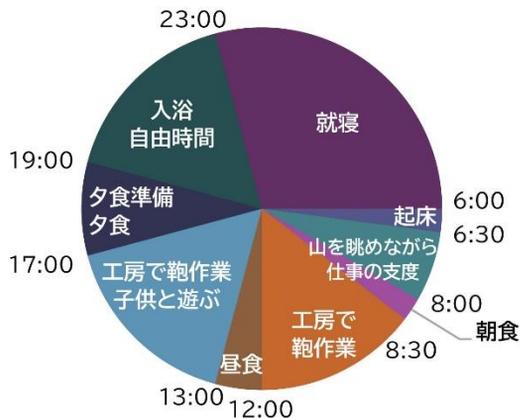
もともとモノづくりが好きで、美術大学で学び、靴の会社で靴職人として働いていました。今も西会津町で立ち上げた先輩の靴工房を手伝っています。

もう一つの仕事は旧中学校を利用した芸術村での勤務です。ここの理念は「古い校舎から新しい価値を伝える」です。みんなでいろいろ考えながら年間に数回のイベントを実施しています。ちょうど今は公募展示の入れ替えをしているのですが、私の母校からも毎年応募していることをここにきて知りました。美大の学生たちが発表する場が西会津町の芸術村で、私が今その手伝いをしている。こういうつながりってすごいと思います。



西会津芸術村での取材の様子

ある一日のスケジュール



展示の入れ替えや配置変えなども、自分たちで行うので、結構、力仕事もあるんですよ。

他にも持ち込み企画なんかも実施します。この前は奥阿賀の人の企画でロブスターパーティーというウチダザリガニを食べるイベントを行いました。ウチダザリガニが食べられるってその時に初めて知りました。この方は元々福島県出身の方で阿賀町の地域おこし協力隊になって、そのまま阿賀町の活性化をしているそうです。西会津町ともつながりがあって実施することになりました。こういう人と人のつながりで芸術の企画と地域づくりの両方が出来ている感じです。

<西会津町の魅力>

移住する時にいろいろ考えて来たわけではないのですが、住んでからいいところだなあ、と思いました。例えば秋の紅葉とか、冬の雪が積もって全部真っ白になった景色とかは都内では絶対に見られなかった風景です。四季がはっきりしているのを当たり前とっていなかったもので、すごくキレイな瞬間に出会うと一人で感動しています。

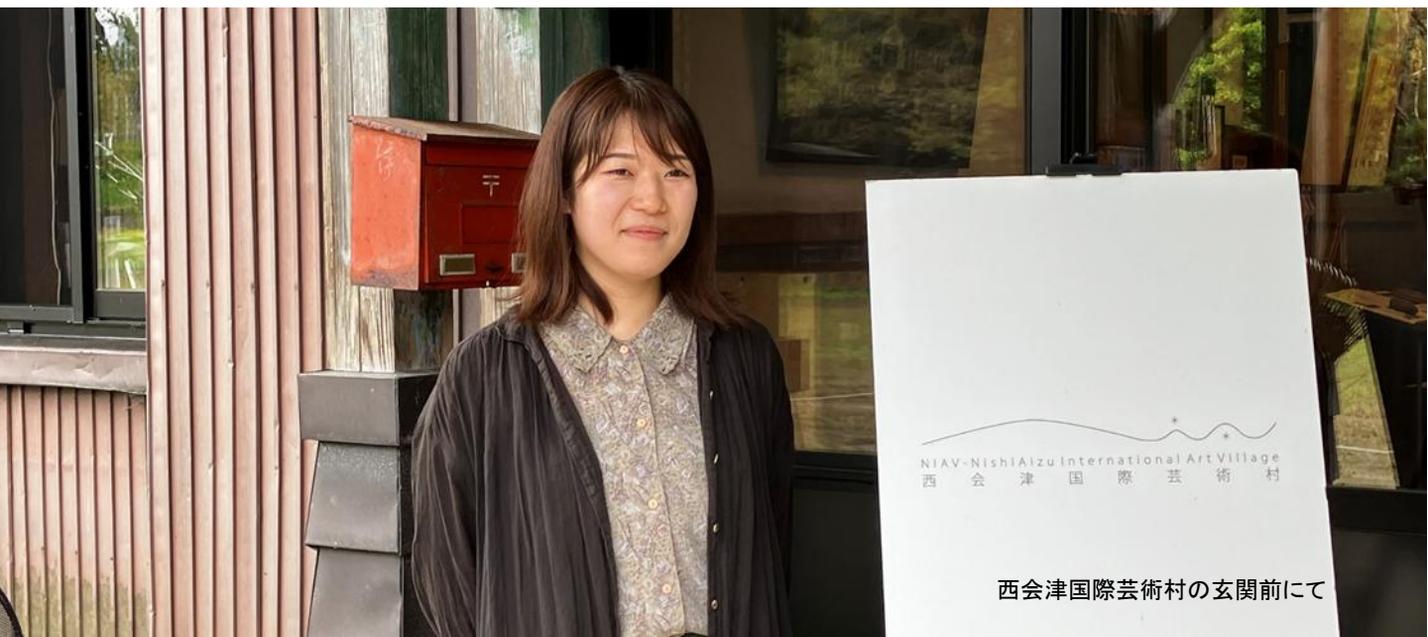
あと、食べ物が美味しいですね。山菜は知っていましたが食べたのはここに来てからです。種類もたくさんあって山菜の美味しさにはまりました。今は山に行って採るまでは出来ませんが、コゴミは採ってみたいです。都内に住んでいたら旬の美味しさを知らずにいたかもしれません。人がすごくあたたかいので、西会津町に住んでよかったと思っています。

市古さんの行動歴

東京都生まれ ⇒ 東京都(大学・就職)
⇒ 西会津町へ

移住を検討している方にアドバイス

運転初心者には雪道は厳しいです。運転に慣れてから冬を迎えた方がいいと思います。



西会津国際芸術村の玄関前にて

現住人口	5,533人 男性/2,682人 女性/2,851人
面積	298.18平方キロメートル
標高	海拔 158.8m(西会津町役場)
最寄駅	JR磐越西線「野沢駅」
最寄IC	磐越自動車道「西会津IC」
保・幼・こ	認定こども園 1園
小学校数	公立 1校
中学校数	公立 1校
高校数	公立 1校
病院数	診療所 3か所 歯科 1か所
町の特徴	新潟県との県境に位置する西会津町。「3年通うとなじよな願いも叶えてくださる神様」の大山祇神社があり、毎年6月に1か月間開催される大山まつりには、多くの人を訪れる。 また、味噌ラーメンも人気で、数件ある食堂には行列ができる。
移住 サポート 窓口	にしあいづ移住・定住総合支援センター 西会津町役場(商工観光課) 移住ナビ https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/site/iju/ 電話: 0241-45-2213 メール: tiiki@town.nishiaizu.fukushima.jp

